



P-Stick TS

取扱説明書

Version 0.8 (2006/9/2)

有限会社ユビグラフ

<http://www.ubigraph.com/>

問合せ先： info@ubigraph.com

1. はじめに

P-Stick は USB スティックに内蔵されたソフトウェアによって、手軽に様々な情報共有を可能にするデバイスです。P-Station が存在するネットワークにさえアクセスできれば、簡単にプレゼン共有が実現できます。

2. 対応システム

OS: Windows 2000 (SP1 以降), Windows XP

メモリ: 256Mbyte 以上 (512Mbyte 以上推奨)

CPU: Pentium(R)III 500MHz 以上

USB ポート: USB 1.1/2.0 準拠

3. 使用方法

A. 準備:

利用する PC が、プレゼン対象の P-Station と同一ネットワークに接続できていることを確認してください。Windows の場合、コマンドプロンプトから "ipconfig" 等を入力することで確認ができます。

B. 起動:

P-Stick を USB ポートに挿入してください。

初めて P-Stick を利用する場合、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

初めての利用の場合、Windows のドライバが自動的にインストールされます。

無事に、Windows が P-Stick を認識すると、次にソフトウェアが自動起動します。この際に、removable ディスクのフォルダが開くことがありますが、自動的に閉じるまでお待ちください。

また、自動起動しない PC の場合は（設定や、OS のバージョンが古い場合）

マイコンピュータ→UD-ROM

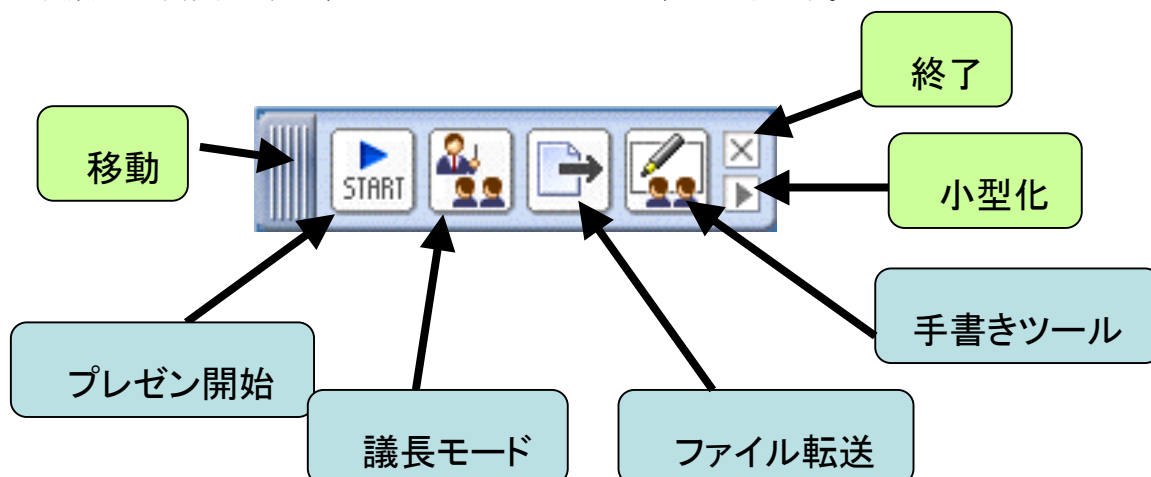
をダブルクリックして起動させてください。 Windows2000(SP3 以前)の場合は、初めて USB スティックを挿入した場合、自動起動されないことが確認されています。

ドライバインストール終了後、P-Stick を USB ポートから一度、抜いてから、再度挿入することにより、起動します。

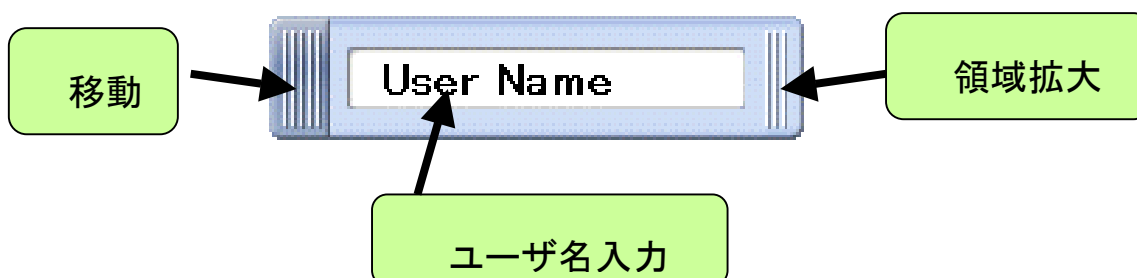
C. 基本利用

起動に成功すると、画面右下に以下の図のようなツールバーが表示されます。

4 種類の基本機能の利用、およびツールバーの小型化が可能です。



また、左上には、以下のようなユーザ名を表示・入力することが可能なウィンドウが表示されます。



4. プレゼン開始

プレゼン開始ボタンが押されると、P-Station（ディスプレイ）が1台のみで、議長が存在しない場合、アイコンが「STOP」となり、プレゼンが開始されます。

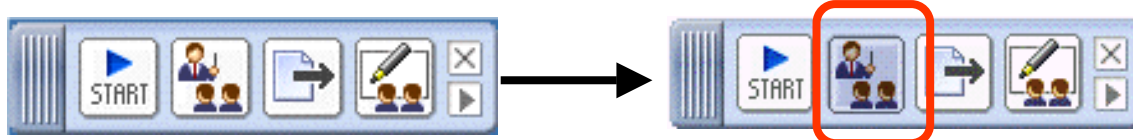


議長が存在する場合は、議長にプレゼンの準備ができたことを伝えたこととなります。また、複数のディスプレイが存在する場合は、ディスプレイの選択ダイアログが表示されます。「全画面」を選択すれば、すべてのディスプレイにプレゼンを送信することができます。



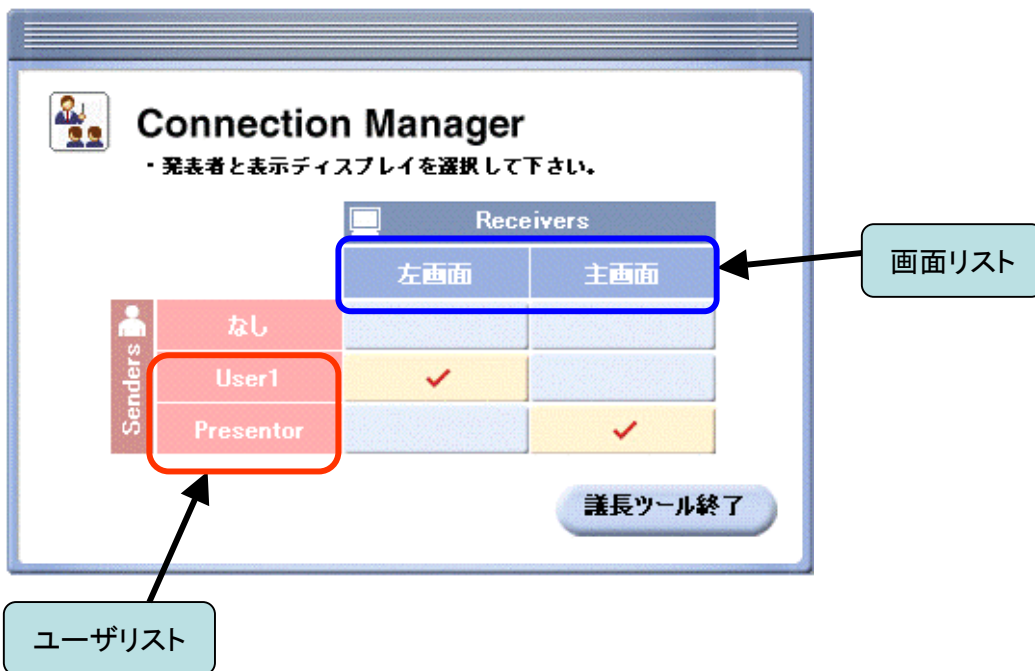
5. 議長モード

複数人でプレゼンテーションを行う場合、議長モードを利用することができます。誰かが議長モードを実行していると、下図に示すように、議長モードのアイコンが暗くなって、議長モードが起動されていることがわかります。



議長モードを起動すると、起動した端末から、他の端末とディスプレイ（画面）間の表示を制御することができます。議長モードを開始すると、以下の「議長ツール」ウィンドウが表示されます。「議長ツール終了」で議長モードを終了できます。

議長が存在する状況では、誰かが「START」ボタンを押しても、すぐにプレゼンは開始されず、次の図の「Senders」に名前が表示されます。議長は、発表者と表示したいディスプレイ（画面）を選択することにより、会議を進行することができます。



6. ファイル転送

P-Stick を利用している他のユーザにファイルを送ることができます。

ファイル転送ボタンを押すと、現在 P-Stick を利用している他の端末のユーザ名が表示されます。ユーザ名を選択し、「送信」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが表示されます。送りたいファイルを選択すると、ファイルが転送されます。また、「全選択」ボタンを押すことにより、すべてのユーザにファイルを送信することができます。

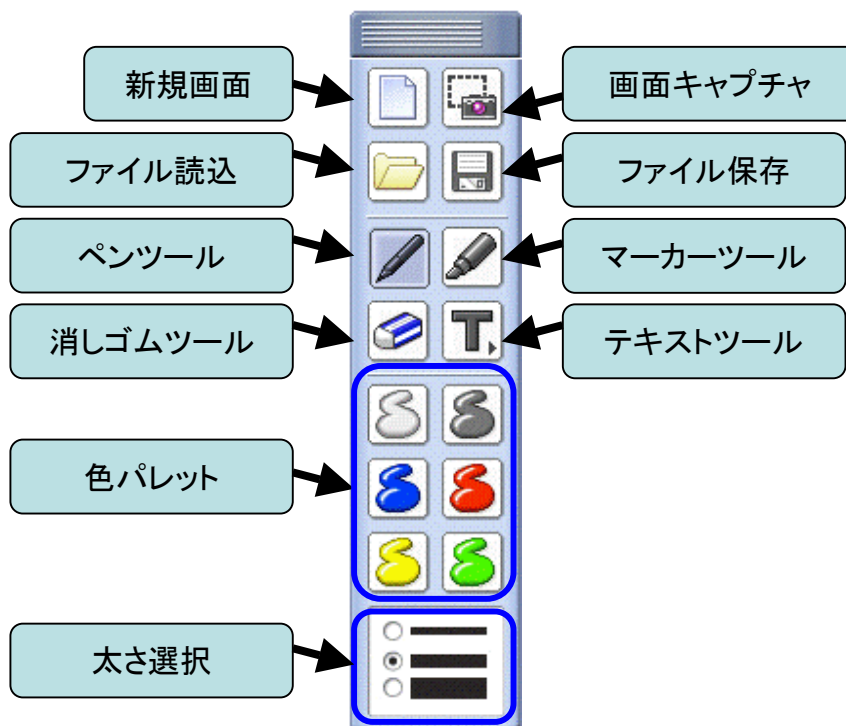


ファイルを受信したユーザ側では、保存ダイアログが表示されます。この際、キャンセルを押すと、送信者に「送信が拒否されました」というダイアログが表示されます。また、ファイル名を指定して保存することにより、転送が開始されます。

ファイル転送が終了すると、送信者、受信者にそれぞれ完了を通知するダイアログが表示されます。

7. 手書きツール

手書きの画面を P-Stick 利用者間で共有できます。画面に表示する必要はありません。以下のツールボックスを利用して手書き図を書くことができます。



新規画面で、現在の画面がクリアされます。重要な情報の場合は、事前に保存することを忘れないようにしてください。画面キャプチャは、現在の画面の下に表示されている Windows の実行画面をキャプチャすることができます。

8. 終了方法

P-Stick は、USB スティックを抜くだけで終了することができます。また、ツールバー右上の終了ボタンを押すことにより、終了させることもできます。

9. 注意事項

各ボタンやツールは、連続した操作を行うと動作不良になることがあります。また、USB スティックの抜き刺しは、システムの動作を見て、余裕をもって行ってください。急激な操作はシステムの不良動作を招くおそれがあります。

以上